

東品濃小学校では、日々の出欠連絡(健康観察)のオンライン化

- <経緯> ▶6月 1クラスで施行 ▶7月 全児童526名で施行
- <準備> ▶保護者向けには、手紙・動画で周知、教職員向けには、動画を使った校内研修実施
- <方法> ▶朝、8時までに家庭から直接担任へ子どもの健康観察を連絡(出欠含む)



養護教諭

<養護教諭>

【Before】教室を回って健康観察表を回収し、職員室に戻り欠席人数と食数の集計⇒30分程度
【After】職員室で全学級の出欠席状況を確認。欠席人数と食数の集計⇒15分程度

ロイロの出欠機能を導入してよかったところ

欠席する児童の状況について詳しく記入して下さる保護者もいるので児童の状況把握が今までよりもスムーズになった。今までは連絡帳が担任のところに届くので担任に確認しないとわからなかった。また、電話による対応が少なくなり、タブレット端末があればどこでも作業ができることが便利。

速やかな把握

履歴の蓄積

作業の効率化

標記の整合



4年担任
ICT推進

<4年学級担任>

【Before】日々提出する健康観察カードのチェックと朝の出欠確認。所要時間約20分程度(児童登校時刻8:10~8:25)

【After】朝、教室に行くまでに全ての情報が端末に。端末での所要時間は5~10分



4年担任
学年学籍

<学年学籍担当>

【Before】紙での出席簿を確認している時には、書いている内容を各担任に確認する時間が多くありました。

【After】端末上では、全ての表記が同じなので、各担任に確認しないでスムーズな業務が出来ました。



4年 保護者

- ・欠席の状況をいつでも送信できるので助かります。
- ・子どもが早退した時も、出欠情報の履歴で確かめることができました。

家庭と学校の連絡ではICTを活用することで
○速やかな把握○履歴の蓄積○標記の整合○作業効率化
も見受けられますが、まだまだ操作に慣れるまでには時間を要します。

担任の先生は、全教科の学びでも積極的に端末を活用
～ロイロノート・スクールのクラウドで提出物の管理も～



端末活用で
よかった事例

【Before】

- 紙のワークシートを使用して、集めて事前に教師が子ども一人ひとりの考えを把握
- 授業で、教室の大型テレビに映し出し、考えを共有

【After】

○授業の中で端末操作、座標軸を使って、子どもたちの考えをクラス全体で共有・議論



【体育】マット運動の様子を撮影し合い、手本の動画と見比べる。
【算数】計算の手順を説明する動画をクラス共有し、ノートに計算。

◎ノートを見るだけではつまずいたところや考え方のコツを共有できなかったが、動画をみることで可能になった。

嬉しかった子どもの姿

◎漢字が苦手な子が、ノートも取らずにボーっとしていた子が、キーボード入力して授業に参加するようになった。

<令和3年8月20日 読売新聞
かながわ教育掲載記事より>